

脳卒中連携ネットワークの進捗状況について

- 香取海匝地域では、平成30年度から「脳卒中連携ネットワーク」をテーマに医療機関が抱える課題解消に向けた取組を行っている。
- 今年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、「脳卒中連携ネットワーク全体イメージ図」（資料1-2）で示したもののうち、
 - ① 「血栓溶解療法（t-PA）・血栓回収療法施行実績」
 - ② 「脳卒中予後データ」について、進捗（令和元年度分データ提供）を示すことに留める。

① 血栓溶解療法（t-PA）・血栓回収療法施行実績（資料1-3）

- 旭中央病院提供データを基に事務局にて作成。
- 脳梗塞による旭中央病院の入院患者数については、平成30年度以降最も多くなっている。
- 血栓溶解療法（t-PA）施行実績については、過去2年度分と比較して大きな変化は認められない。
- 血栓回収療法施行実績については、昨年度と比較して増加している。

② 脳卒中予後データ（資料1-4）

- 令和元年度における旭中央病院・イムス佐原リハビリテーション病院の退院患者データを基に事務局にて作成。
- 脳卒中予後について、平成30年度と比較して大きな変化は認められなかった。

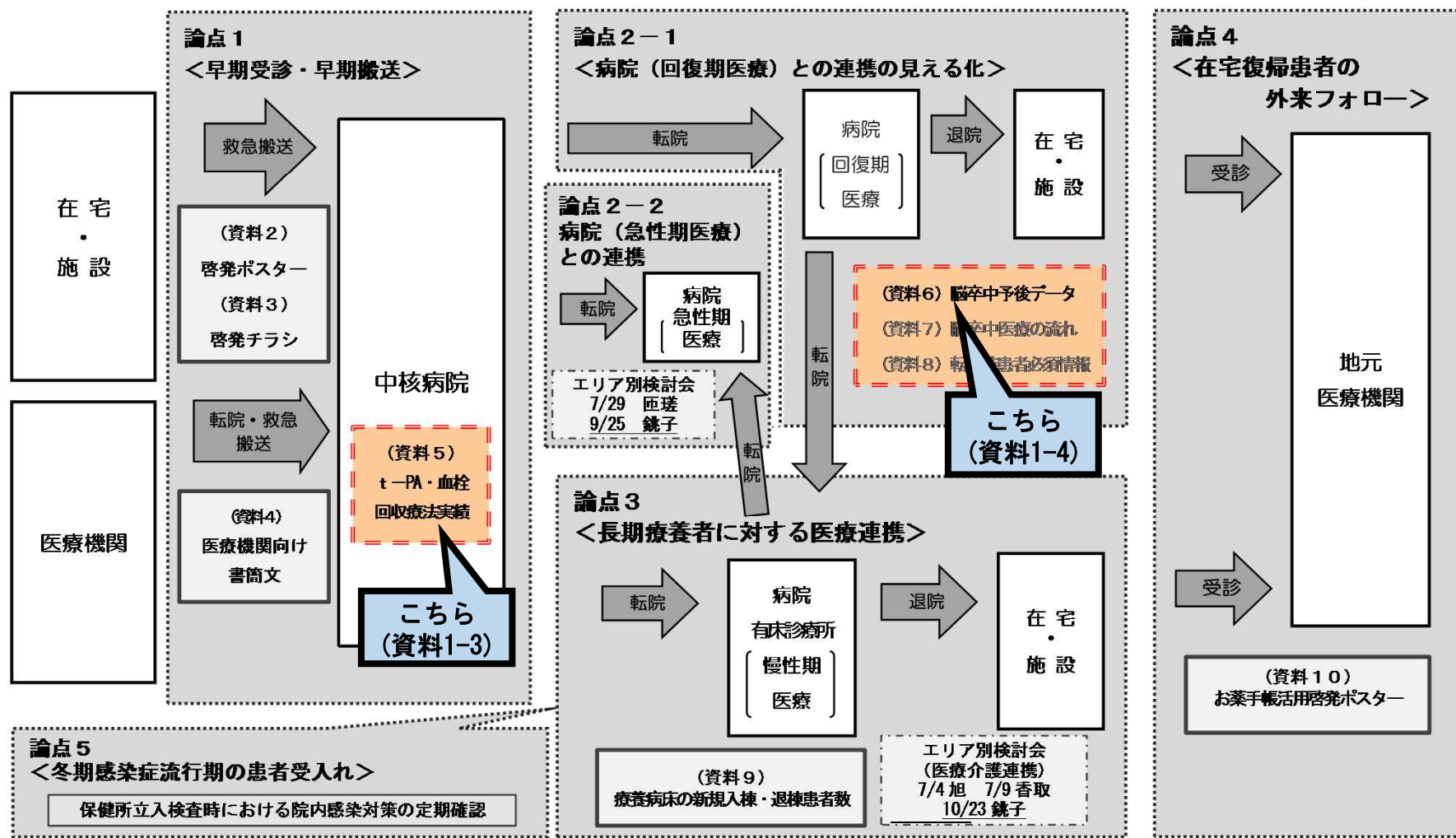
今後も脳卒中予後の改善に向けて関係者と情報を共有してまいりたい。

脳卒中連携ネットワークの進捗状況について

資料 1-2

《参考》令和元年度第1回会議資料を一部改変

脳卒中連携ネットワーク 全体イメージ図

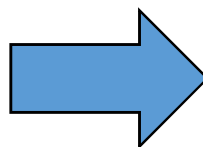


血栓溶解療法（t-PA）・血栓回収療法施行実績

資料 1-3

○ 旭中央病院脳梗塞入院患者数（人）

		H29	H30	R01
合計		492	439	525
圏域内	海匝管内	273	257	312
	香取管内	108	88	103
圏域外		111	94	110



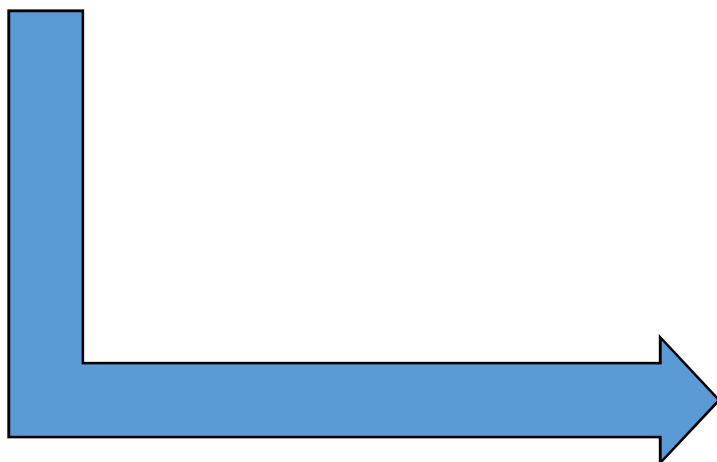
○ t-PA（血栓溶解療法）施行実績

		H29	H30	R01	
患者数 (人)	合計	25	25	27	
	圏域内	海匝管内	16	14	16
		香取管内	3	5	6
圏域外		6	6	5	
割合 (%)	合計	5.1	5.7	5.1	
	圏域内	海匝管内	5.9	5.4	5.1
		香取管内	2.8	5.7	5.8
	圏域外		5.4	6.4	4.5

○ 血栓回収療法施行実績

		H29	H30	R01	
患者数 (人)	合計	—	10 (7)	23 (4)	
	圏域内	海匝管内	—	7 (5)	11 (1)
		香取管内	—	3 (2)	7 (3)
圏域外		—	0 (0)	5 (0)	
割合 (%)	合計	—	2.3	4.4	
	圏域内	海匝管内	—	2.7	3.5
		香取管内	—	3.4	6.8
	圏域外		—	0.0	4.5

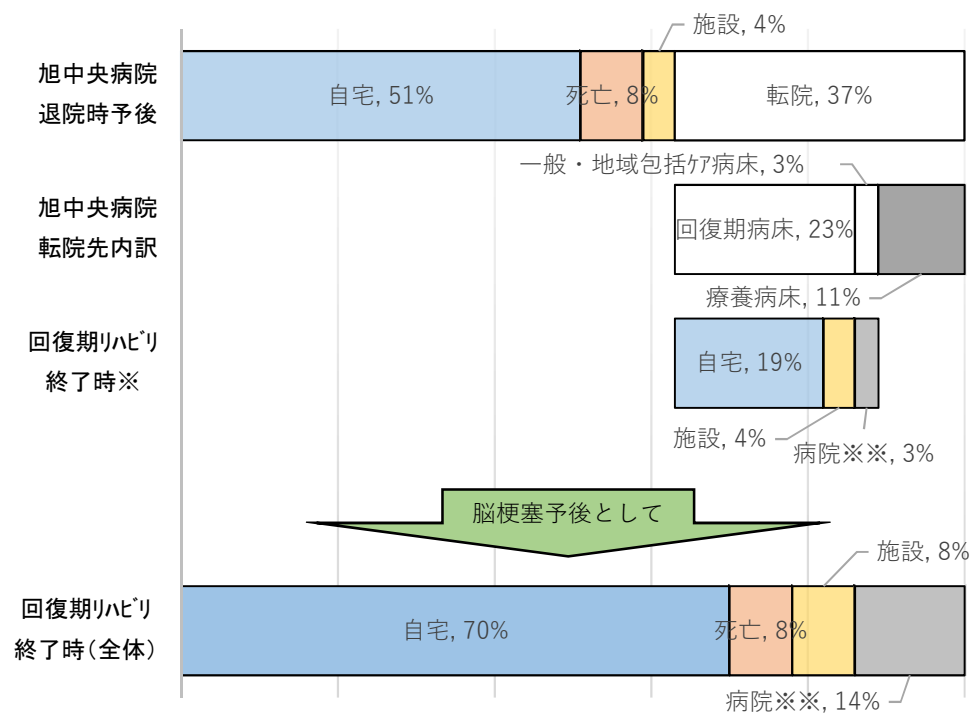
※（ ）内は、血栓溶解療法を併せて施行した患者数（再掲）



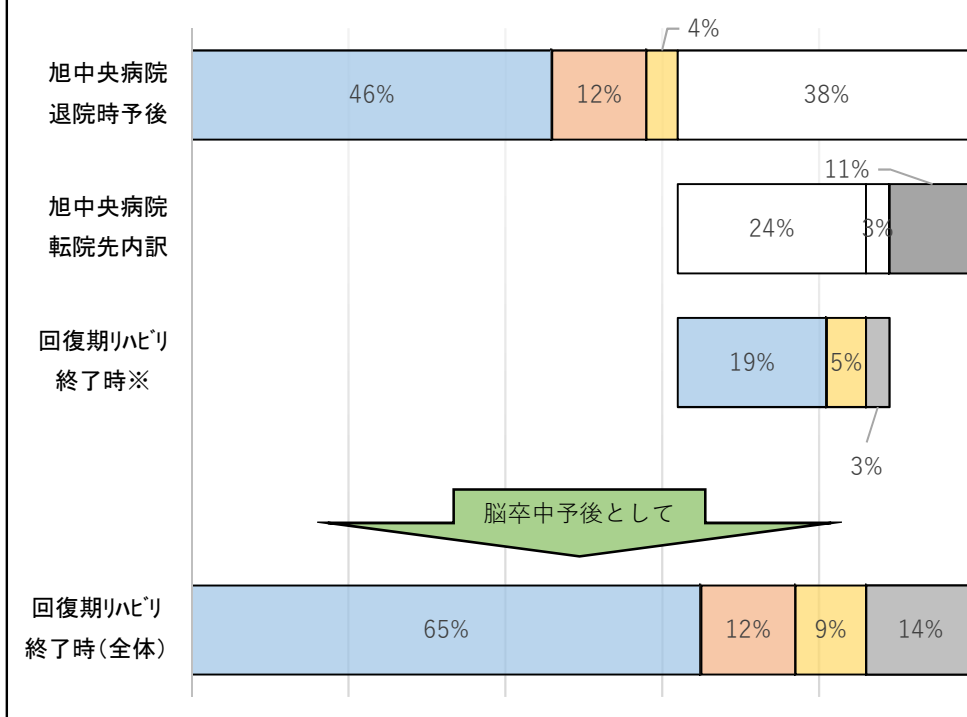
脳卒中予後データ

資料 1 - 4

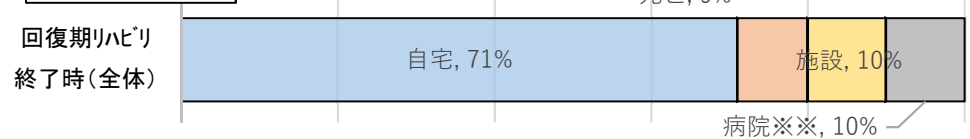
脳梗塞



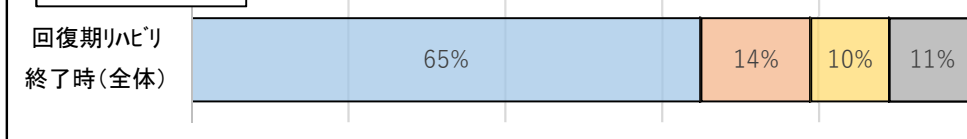
脳卒中全体



平成30年度



平成30年度



※ 回復期病床、一般・地域包括ケア病床をまとめた実績の内訳を示したもの（回復期病床予後を利用）
 ※※ 基本的には療養病床を持つ病院になるが、一部療養病床を持たない病院（急性期など）が含まれる。